

□昭和 34 年(1959 年)伊勢湾台風に
関する石碑・慰霊碑等について

消防科学総合センター研究開発部審言義役 伊藤 豊 治

消防科学総合センターでは、本年 7 月～8 月にかけて、三重・岐阜・愛知の東海 3 県において伊勢湾台風に関する石碑・記念碑・慰霊施設や浸水表示板等が残されている以下の箇所にて現地写真等関連資料を収集しまし

た。石碑・慰霊碑等とその所在、市町村(当時の行政区分による)別死者数及びこれらの所在地マップは以下のとおりです(写真を掲載した石碑等に記号を付記。)

表 伊勢湾台風に関する石碑・慰霊碑等

県	市町村	石碑・慰霊碑等	所在地	死者数
三重	四日市市	伊勢湾台風慰霊碑 A	四日市市富田一色町海浜緑地公園	113
	川越町	伊勢湾台風殉難之塔・高潮殉難者之墓 B	川越町亀崎新田(地区公民館敷地内)	170
	桑名市	春日神社鳥居浸水痕跡	桑名市本町	197
	長島町 (当時、桑名郡)	近鉄長島駅前浸水表示板 「輪中の郷」浸水表示板 伊勢湾台風締切記念碑	近鉄長島駅前 長島町西川地内 長島町揖斐川左岸堤防上	363
	木曾岬町	伊勢湾台風締切記念碑 D 木曾岬神社由来碑	木曾岬町源緑輪中 木曾岬町雁ヶ地	314
岐阜	海津市	治水神社 E	海津市油島	-
愛知	弥富市 (当時、海部郡)	伊勢湾台風殉難之塔 鍋田神明神社 伊勢湾台風災害復興之碑	弥富市西末広 弥富市鍋田町 弥富市中切 十四山西公園	308
	飛島村	伊勢湾台風殉難之碑 G	飛島村新政成筏川河口新末広橋東詰	121
	名古屋市中区 (港区)	伊勢湾台風記念碑・母子像 H 浸水位表示板 I 伊勢湾台風慰霊の碑	名古屋市中区港明 1 丁目(港区役所) 名古屋市中区港明小学校前 港区春田野 3 丁目南陽神社	375
知	名古屋市中区 (南区)	伊勢湾台風殉難者慰霊之碑 J 伊勢湾台風記念像 K	南区白水町白水小学校 南区柴田大同高校同大グラウンド	1,417
	東海市	伊勢湾台風被災追憶之碑 L 浸水位表示板	東海市名和 3 番割名和小学校 名鉄名和駅前	141

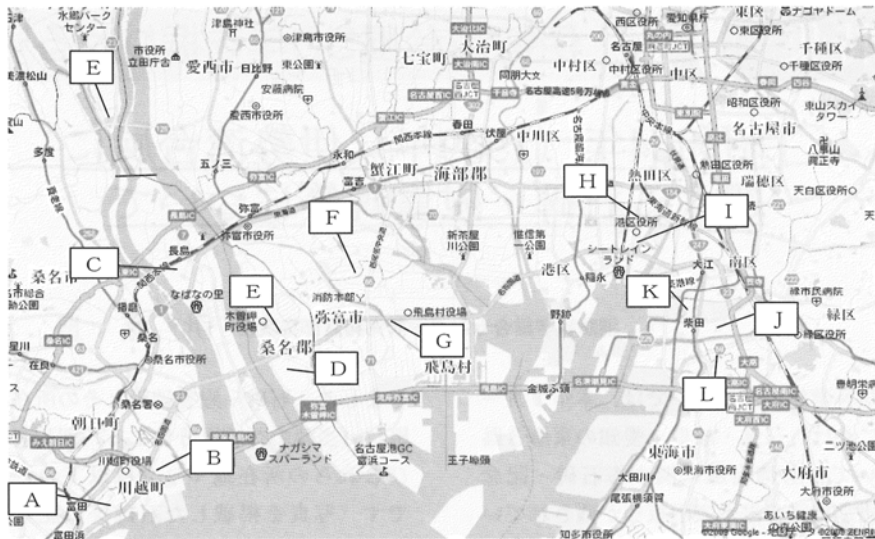
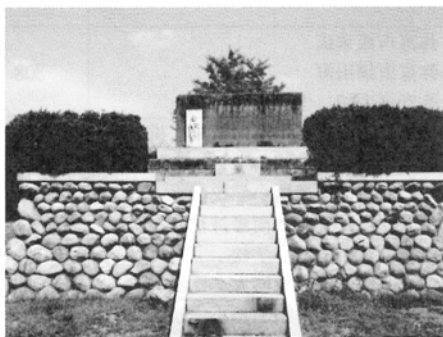


図 伊勢湾台風に関する石碑・慰霊碑等の所在マップ

1 三重県関係

(1) 四日市市

四日市市(当時の行政区分)富田一色町境界は、臨海工業地帯と市街地への高潮のため、浸水が長期化した。この公園には、伊勢湾台風による被災者の慰霊碑のほか、国土交通省と四日市市が共同して設置した被災水位表示板がある。伊勢湾台風当時この公

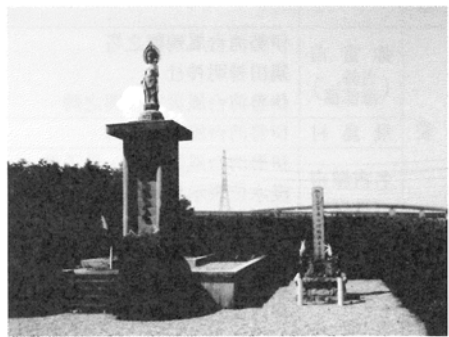


写真A 伊勢湾台風慰霊碑(四日市市)

園は1.8m浸水したことがわかる。

(2) 川越町

川越町では、高潮及び堤防の破堤による浸水が生じ、多数の死者が出たことから、伊勢湾台風殉難之塔と高潮殉難者之墓が建てられた。同町亀崎新田地区公民館では、管内で当時の写真を掲示しており、施設を訪れた人が常時見られるようになっている。



写真B 伊勢湾台風殉難之塔(川越町)

(3) 桑名市及び長島町

桑名市(当時の行政区分)春日神社の鳥居には、当時の浸水痕跡が見られる。長島町(当時、桑名郡)では、近鉄長島駅前ロータリー(同町中間部)や体験型複合施設「輪中の郷」(同町北部)に、当時5mを超える高潮のため水没したことを示す浸水表示板が設置されている。同町にはこのような表示板や石碑・慰霊碑が多数あるほか、伊勢湾台風記念館(同町南部)等と合わせ、町民・県民の防災意識の喚起に役立てられている。

(4) 木曾岬町

木曾岬神社は、同町中央に位置し、伊勢湾

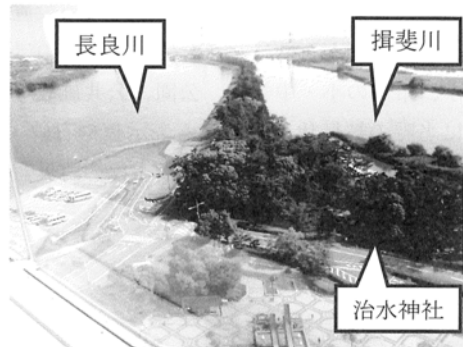
台風による死者・行方不明者を弔うため興されたことが石碑に記されている。また、伊勢湾台風締切記念碑は、同町長良川左岸にあつて、当時の被災状況を伝える表示板と石碑・地藏菩薩の祠が併設されている。このほかにも、石碑・慰霊碑・祠等が町内の各地に設置されている。

2 岐阜県関係

治水神社は、海津市南部に位置している。神社そのものは、江戸時代末期からの治水事業による犠牲者を慰霊する目的で興された神社である。この地域は、伊勢湾台風によ



写真C 近鉄長島駅前浸水位表示板



写真E-1 治水神社 (タワー展望室より)

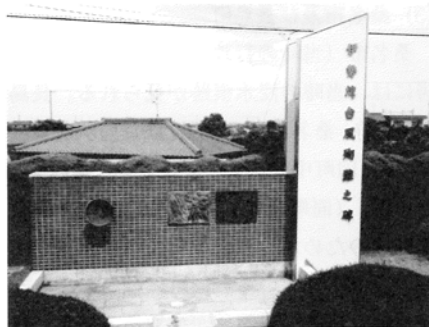


写真D 伊勢湾台風締切記念碑 (源緑輪中)



写真E-2 治水神社 (海津市油島)

る死者・行方不明者は生じなかったものの、風害その他の被害が伝えられている。敷地内に併設されている木曽三川公園タワーは、愛知県・岐阜県・三重県が接する位置にあり、三河川が合流する様子を見ることができるなど、治水神社やタワーを訪れた人々への防災意識の喚起に役立てられている。



写真G 伊勢湾台風殉難者慰霊之碑

3 愛知県関係

(1) 弥富市

弥富市(当時海部郡弥富町)では、伊勢湾台風殉難之碑が、市内南部鍋田川下流低地の末広地区の被災者を弔うため、建てられた。鍋田神明神社は、同市南部に位置し、同地区の死者・行方不明者を弔うため設置されたことが石碑に記されている。このほか、市内の小・中学校、公園、公共施設等に当時の被災状況を伝える表示板や石碑・記念碑等が設けられており、市民の防災意識の喚起に役立てられている。



写真F 伊勢湾台風殉難之塔

(2) 海部郡飛島村

伊勢湾台風殉難之碑は、同村内南部低地にある新政成笹川河口の新末広橋東詰地区の被災者を弔うために建てられたことが石碑に記されている。

(3) 名古屋市港区

伊勢湾台風記念碑・母子像は、同区の死者・行方不明者を弔うため、名古屋市港区役所前に設置されている。現在の区役所に移転する前に記念碑を設置した当時の被災地の浸水高さを台座に表示しているが、浸水高さが2m程であったことがわかる。

区役所と同じ敷地内に併設されている港区防災センターは、ここを訪れた市民・県民の防災啓発・研修に役立てられており、伊勢湾台風の被害や対応に関する写真・資料の展示コーナーが設けられている。

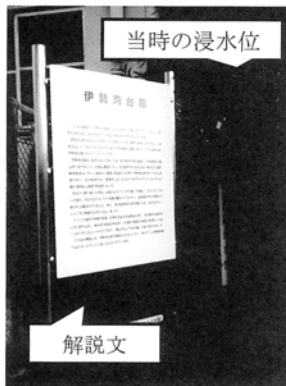
同区内の小・中学校の多くは伊勢湾台風の被害を受けていることから、港明小学校の浸水表示板など区内各地に当時の浸水位置を表した表示板等が設置されている。



写真H 伊勢湾台風記念碑・母子像



写真J 市立白水小学校「友情の碑」



写真I 浸水位置図



写真K 伊勢湾台風記念像「愛と力の筏」

(4) 名古屋市南区

南区の死者数は 1,417 名で、名古屋市の被害の 3/4 と突出している。

同区内には、小・中学校のほか、高校・大学などが多数あり、当時の被災児童・生徒を慰霊する施設のほか、伊勢湾台風による被害状況や浸水位を記すものが多い。

大同高校大同グラウンド入り口に設置された記念像は、同校生徒による被災者への救護・輸送・清掃等の献身的な活動を称える内容となっている。

(5) 東海市

市立名和小学校にある「友情の塔」は、伊勢湾台風で命を失った名和小学校 25 人、上野中学校 4 人の児童・生徒の慰霊塔で、全国からの寄付により建立された。毎年 9 月 26 日前後には、全校児童が参加して「友情の塔の会」を開き、校長先生や当時の様子を知る人の話を聞き、災害の恐ろしさを語り伝え、備えを固めるとともに命の尊さ、友情の大切さを確かめあい、犠牲者の冥福を祈っている。

また、同市内の名鉄名和駅前ロータリーには、伊勢湾台風による浸水位表示板が設置されている。



写真L-1 伊勢湾台風被災追憶之碑
(名和小学校)



写真L-2 名鉄名和駅前浸水位表示板